

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 南陽恵和会

目 次

1	令和4年度事業総括	1
2	法人事業概要	3
3	理事会・監事会・評議員会開催状況	4
4	会議・委員会開催状況	5
5	職員状況	6
6	職員研修等状況	7
7	苦情受付と対応	8
8	特別養護老人ホームこぶし荘	9
	(1) 介護課	
	(2) 医務課	
	(3) 給食課	
	(4) 総務課	
	(5) 業務課	
9	こぶし荘ショートステイ	21
10	こぶし荘デイサービスセンター	23
11	こぶし荘在宅介護支援センター	27
12	こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家	29
13	養護老人ホーム南陽やすらぎ荘	33

1. 令和4年度事業総括

こぶし荘では、介護サービス・支援体制の充実を図るため、科学的介護（LIFE）の活用を進め加算取得に取り組むとともに、タブレットを活用した介護記録業務の負担軽減など、入所者の重度化とリスクマネジメント、介護人材不足など介護を取り巻く厳しい現状の中、多職種の連携、各棟間の業務連携を図るべく検討を重ね、介護保険法に則った事業運営体制の構築と、より充実した介護支援体制を図るため、新たな加算取得に目標を設定し取り組みました。

南陽やすらぎ荘では、指定管理運営3年目となり、4月には新施設が供用開始となりました。新施設では、4ユニットでの支援体制の構築に努める中で、処遇体制の強化や光熱費等コスト削減等の新たな課題が見えた年となりました。

新型コロナウイルスに係る対応については、株を変異させながら感染拡大の波が治まらず、高齢者施設での週毎のクラスター発生件数は、令和4年末には第7波の数を超える過去最高と言われる中、こぶし荘とやすらぎ荘においてもクラスターの発生を経験することとなりました。こぶし荘（11/16～12/11までの間）は、入所者11名、職員11名の感染、やすらぎ荘（11/20～12/22までの間）は、入所者6名、職員10名の感染でした。この間、やすらぎ荘入所者1名が入院したものの入所者・職員共に重傷者はなく待機期間をもって軽快されました。これも、コロナ感染症が発生した場合をシミュレーションし準備を進めていたこと、また、嘱託医であり産業医である川合先生および原田先生はじめ、各関係機関の指導・協力のもと、逼迫する人員体制の中、多職種の連携や部署間での職員派遣協力を図りながら乗り越えることができたものと思います。また、新型コロナワクチン接種も昨年度に引き続き、嘱託医・産業医と関係医療機関のご協力により、入所者、職員ともに4回目・5回目と滞りなく進めることができたことも重症化せずに済んだ要因の一つと思われます。この経験直後、各部署に「新型コロナウイルス感染症対策に関わるアンケート調査」を実施し、これを基に「感染症対策会議」を開催し、新たな課題を整理しました。この中で、こぶし荘では、西棟にあるさくらんぼ居室（東棟担当）と東棟に隣接する静養室を交換改修するなど、今後に向け感染症対策強化を図るべく始動しています。また、今年度も利用者の処遇及び職員の接遇の観点から日常業務を振り返り、より良いケアの構築のため利用者家族にアンケートを実施しました。結果をまとめ、利用者家族に届けるとともに、サービス検討委員会の中で改善点については改善策を実施に向け進めています。

人材育成・定着については、入職時オリエンテーションの充実を図るとともに、職員全員が自ら成長し新人職員を育てる目的で、人材確保プロジェクトチームを継続し、プリセプター制度による新人職員教育・育成体制に取り組みました。プリセプター制度を採用して4年目となり、新たな課題も含め、引き続き、限られた人員体制の中での指導の工夫や指導内容・指導計画の更なる検討、指導側（チューター）の研修の実施等、教育・育成体制に努めていきます。

人材確保については、全職種においてこれまでにないほどの人材不足でハローワークや職員からの紹介があるものの厳しい状況がさらに継続し、人材派遣・紹介会社にも頼らざるをえない状況が出ています。また、ナースセンター看護師求人説明会や介護福祉フェア等に参加し人材確保に努めましたが、採用までに至りませんでした。また、今年度、赤湯中学校の生徒3名が2日間にわたり、こぶし荘で職場体験をしました。将来を担う若い世代の育成にもつながると考え、今後も感染対策に努めながら職場体験者や実習生の受け入れ等を積極的に行っていきます。

処遇改善とキャリアアップ制度の充実については、これまでの「介護職員処遇改善加算」、「介護職員等特定処遇改善加算」を継続取得し、「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」を活用した処遇のさらなる充実に努めました。また、介護福祉士等の職能資格等の取得を推進し、助成金を活用した取得支援に取り組み、今年度、介護職員4名が介護福祉士試験に合格することがで

きました。

3年に及ぶ新型コロナ禍で、我々の福祉の仕事が、高齢者の社会生活に必要な不可欠であることが改めて明らかになったと感じます。繰り返される感染拡大のもと、福祉現場では、入所者や利用者の日々の暮らしを支えるべく奮闘してきました。同時に、感染蔓延に対応できない職員配置基準や、利用自粛や事業休止で経営が成り立たない介護報酬の実態も露呈しました。また、医療逼迫による施設内療養が強いられ、全国的には亡くなった方も多くいました。重症化しやすい高齢者への医療保障なしに感染や感染を起因とする死は防げず、福祉施設の機能が果たせないことも明らかで、今回のクラスター経験を通し実感しました。

このような中、政府は令和5年5月8日以降、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを季節性インフルエンザと同じ「5類」へ引き下げることと決定しました。当法人では、これまでクラスター防止のために「感染を施設へ持ち込まない」ことを徹底した感染対策を行ってきましたが、周辺地域の福祉施設事業所、学校、保育園などから感染情報が聞かれる状況は依然として変わらず、コロナ感染症のみならずインフルエンザの集団発生も聞かれ、予断を許さない状況が続いています。職員家族の感染報告も相次ぎ、自宅待機となる職員の勤務交代や超過勤務など、現場が逼迫する状況も継続しています。今後、さらに、発生時を想定した法人事業所内の業務協力体制を強化するため、より具体的なシミュレーションや研修会を各部署間で重ねていくよう、施設運営会議はじめ、関連する委員会等と連携協働し、危機管理に努めてまいります。国からの通達ではBCP策定など、「感染症、災害への対応力」や「十分な感染対策を行いつつ事業の継続」が求められています。今回、クラスター対応のため、衛生材料約150万円、超過勤務手当約280万円の経費が生じ、県補助金の申請により補助されましたが、今般、新型コロナウイルスの感染症法上5類に位置づけされることにより、こうした補助金も打ち切られます。これに追い打ちをかけるように、今年度は、電気やガス、食料品等の価格が高騰し、令和5年度に入っても価格高騰は継続しています。当法人のコスト軽減対策委員会では、出来る限り節約できることを検討提案し、職員に協力を仰ぎ、例えば電気使用量などは、17,936kWhの削減（令和3年度比）の成果があったにもかかわらず、電気料金は燃料調整単価等の値上げにより約700万円増となりました。今後さらに高騰すると言われており、運営的にも経営的にも大きな影響を及ぼすものです。一法人だけの努力や課題とするには困難であると、今回の経験を通しさらに痛感しています。

最後に、3年に及ぶ新型コロナウイルスの感染まん延は、面会や外出の制限、地域の方々とのイベントの中止などにより、入所者のADLや生活の質の低下が心配される状況が続きました。このような中、家族や地域とのつながりをいかに持つか、さらには利用者・入所者の生活に潤いや楽しみが持てるような日常をいかに構築していくかが問われています。人員体制も十分に整わない中で、日々「命を守る」使命を担う職員の心身の負担も増大しており、職員の処遇改善にも引き続き努め、より良いケアの実践に取り組んでまいります。

2. 法人事業概要

- (1) 法人名 社会福祉法人 南陽恵和会
 (2) 所在地 山形県南陽市川樋508番地
 (3) 設立年月日 昭和63年5月17日
 (4) 法人事業

第一種社会福祉事業

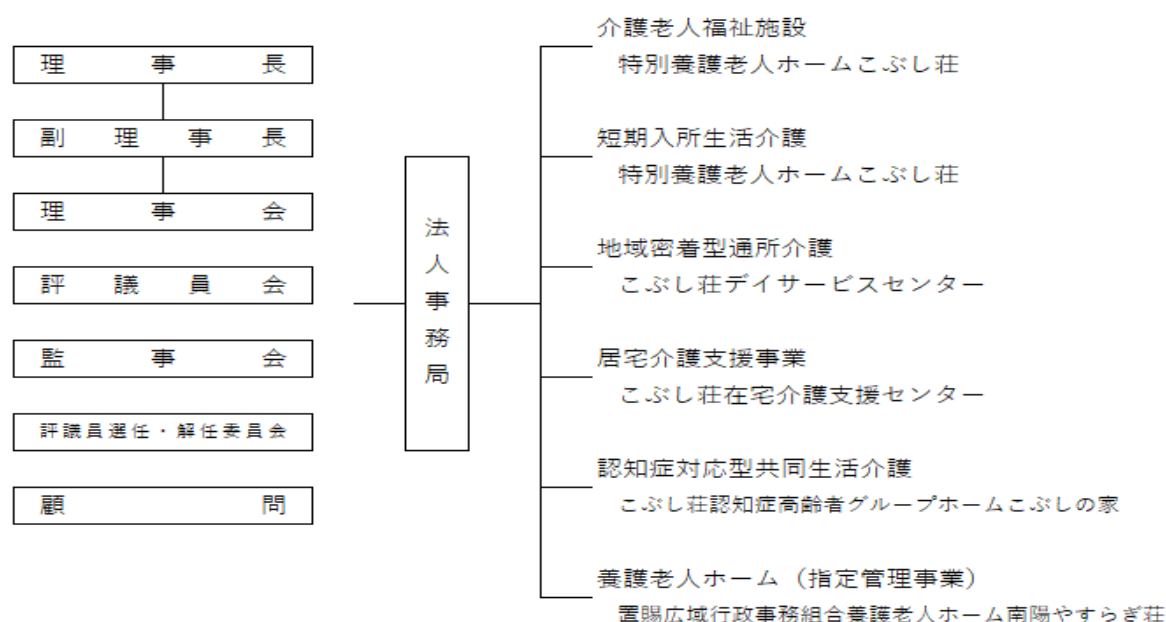
事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設 (居宅介護支援事業)	特別養護老人ホームこぶし荘 (こぶし荘在宅介護支援センター)	116名	平成元年4月1日 ※R3.5.1 定員110名から116名に変更 (平成5年4月1日)
養護老人ホーム	置賜広域行政事務組合 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘	70名	令和2年4月1日指定 管理開始

第二種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所生活介護	こぶし荘ショートステイ	2名	平成元年4月1日
通所介護	こぶし荘デイサービスセンター	18名	平成5年4月1日
認知症対応型 共同生活介護	こぶし荘認知症高齢者 グループホームこぶしの家	9名	平成14年3月1日

(5) 組織図

社会福祉法人南陽恵和会



3. 理事会・監事会・評議員会開催状況

(1) 役員 理事 8名 (定数 8名)
 監事 2名 (定数 2名)
 顧問 1名 (定数 1名)

(2) 評議員 10名 (定数 10名)
 評議員選任委員 3名 (定数 3名)

(3) 理事会開催状況

開催日	決議事項	出席者／定数		
		理事	監事	顧問
令和4年6月9日	令和4年度 第1回定例理事会 ・事業報告案、決算報告書案並びに監査報告 他	7/8	2/2	1
令和4年9月29日	令和4年度 第2回定例理事会 ・第1次収支補正予算案 他 ※ 新型コロナウイルス感染防止のため書面による開催 並びに決議とした	8/8	2/2	1
令和5年1月26日	令和4年度 第3回定例理事会 ・役員、顧問の選任、南陽やすらぎ荘給食業務 委託 他	8/8	2/2	0
令和5年3月30日	令和4年度 第4回定例理事会 ・令和5年度事業計画案、当初予算案、床・壁 紙改修工事 他	6/8	2/2	0

(4) 監事会開催状況

開催日	決議事項	出席者／定数
		監事
令和4年5月31日	令和4年度 第1回定例監事会(業務執行監査) ・監査の所見は「決算報告書」に添付	2/2

(5) 評議員会開催状況

開催日	決議事項	出席者／定数	
		評議員	役員
令和4年6月23日	令和4年度定時評議員会 ・決算報告書案並びに監査報告 他	9/10	9/11

4. 会議・委員会開催状況

(1) 施設運営会議

開催時期	開催回数	内 容
4月～3月	12回	事業計画の進捗確認と検証、目標達成のための協議検討

(2) リスク対策委員会

委員会名	開催回数	内 容
入所選定委員会	6回	次期入所者の決定、調整
身体拘束廃止委員会	4回	身体拘束廃止への取り組み
事故発生防止委員会	5回	リスク対策と軽減
看取り介護委員会	4回	看取り介護サービスの充実
感染症・食中毒予防まん延防止対策委員会	6回	感染症・食中毒予防まん延防止対策
グループホーム重度化対応委員会	6回	GHにおける重度化対応と医療連携
褥瘡発生防止委員会	6回	褥瘡発生防止対策
安全衛生委員会	12回	労働災害防止、労働衛生管理
給食委員会	12回	利用者給食提供の充実
広報委員会	5回	広報誌発行、ホームページ更新等
防災対策委員会	4回	施設防災対策、防災訓練実施
研修・地域連携委員会	4回	施設内研修、地域貢献活動の企画
リハビリ委員会	2回	個別リハ、集団リハの充実
ショートステイ委員会	休 会	コロナ禍対応等、他の会議にて協議
看護介護協働委員会	休 会	喀痰吸引制度の普及啓蒙

(3) 特別委員会

会議名	開催回数	内 容
サービス検討委員会	2回	科学的介護推進体制の確立等
秋祭り実行委員会	3回	こぶし荘秋祭りの企画実施
コスト軽減対策委員会	3回	コスト軽減案を作成、実行し、効果を検証
人材確保プロジェクトチーム	1回	人材育成の検討・福祉就職フェアへの参加

(4) 職員会議

会議名	参加者	内 容
令和4年5月中	117名	令和4年度事業計画について 他 ※新型コロナウイルス感染予防対策として事業所・部署毎の分散開催とした

5. 職員状況

(1) 職種別

令和5年3月31日現在

職名	事業所別						R4年度 採用者 数	R4年度 退職者 数
	こぶし荘	デイサー ビス	グループ ホーム	支援C	計	やすらぎ荘		
施設長	1						0	0
事務職	3						0	0
管理者	【1】	【1】	【1】	【1】	0	0	0	
生活相談員	2	1・【1】	-	-	3	3	0	
介護支援専門員	【4】		【2】	2(1) 【1】	2	【1】	0	
介護職員	50 (24)	4 (2)	9 (3)	-	63	15 (11)	10 (8)	
看護職員	5 (3)						1 (1)	2 (2)
機能訓練指導員	2	-	-	-	2	-	2	
管理栄養士	2						0	0
栄養士	-						0	1 (1)
調理員	11 (7)						1 (1)	1 (1)
業務員	3 (2)						0	0
洗濯員	6 (6)	-	-	-	6	委託	1 (1)	
清掃員	4 (4)	-	-	-	4	委託	0	
夜警員	4 (4)						1 (1)	0
医師(嘱託)	2 (2)	-	-	-	2	1 (1)	0	
実人員合計	94 (51)	6 (3)	9 (3)	2 (1)	111 (58)	23 (13)	-	

※ () 内は嘱託・準職員・パート職員、派遣職員【 】内は同一事業所内での兼務

※ 採用・退職者数に人事異動を含む

※ 実人員合計の内、他事業所を兼務する職員は本体施設でカウント

※ 本表は介護保険法に基づく配置基準を確認するための様式とは異なります

(2) 年齢別

(平均/51.0歳)

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～
男性	0	7	6	5	14	15
女性	1	4	12	22	24	25
計	1	11	18	27	38	40

(3) 在職別

(平均/11.5年)

区分	0～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31年～
男性	28	4	2	1	3	3	6
女性	46	9	3	9	2	9	10
計	74	13	5	10	5	12	16

6. 職員研修等状況

(1) 職場内研修

開催日	研修内容	参加者数
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防により集合研修は中止。 ・各リスク委員会主催での個人や部署毎、介護課は棟毎での分散開催。感染症対策研修（実技）や動画学習等を行った。 	全職員

[] は主催委員会

(2) 外部研修

開催日	研修内容	出席者
令和4年 5月	特養部会 生活相談員研究会	生活相談員 1名
令和4年 6月	特養部会 機能訓練指導員研修	機能訓練指導員 1名
令和4年 7月	福祉サービス苦情対応実践研修会	生活相談員 1名
令和4年 7月	介護福祉士会 介護福祉士基本研修	介護職 1名
令和4年 8月	県社協 調理担当者研修	調理員 1名
令和4年 8月	介護福祉士会 ファーストステップ研修	介護職 1名
令和4年10月	特養部会 生活相談員研究会	生活相談員 1名
令和4年10月	特養部会栄養士研究会	管理栄養士 2名
令和4年10月～12月	救急救命講習	介護職 4名
令和4年10月	障害者職業生活相談員資格認定講習	生活相談員 1名
令和4年11月	県栄養士会福祉栄養士研修会	管理栄養士 2名
令和4年12月	特養部会 生活相談員研究会	生活相談員 1名
令和4年12月	特養部会 機能訓練指導員研修	機能訓練指導員 1名
令和5年 1月	県介護認定調査員現任研修	多職種 5名
令和5年 3月	県介護認定審査会委員新任研修	多職種 2名

※その他、オンデマンド配信を行う認知症介護セミナー等にも案内し自主研修とした。

(3) 社会・地域貢献活動

期日	項目	参加数 派遣数	活動内容
R4. 5.15	中川地区花いっぱい運動（植栽）	3名	衛生組合様と共同作業 ※新型コロナ対策により少人数参加
R4. 5. 1	清掃活動ボランティア	14名	地区内のゴミ拾い、掃き掃除
R4. 6～10月	中川地区花いっぱい運動	全職員	除草等の花壇管理
R4. 6.29	桐塚親友会 様 健康講座	3名	認知症サポーター養成講座
-	いわぶの里夏祭り		開催中止
-	中川地区文化祭準備手伝い		開催中止

(4) 研修講師派遣・派遣協力

期日	研修名	団体等	派遣職員
R4. 5. 27	主任介護支援専門員更新研修	山形県	佐々木利典
R4. 6. 2 他	介護労働講習	介護労働安定センター 山形支所	〃
R4. 6. 8 他	認知症介護実践者研修	山形県	〃
R4. 6. 29	認知症サポーター養成講座	柗塚親友会 様	佐々木利典 山岸篤史 山田昌春
R4. 7. 10 他	ファーストステップ研修	山形県介護福祉士会	〃
R4. 7. 14 他	認知症対応型サービス事業開設者研修	山形県	〃
R4. 7. 16	認知症サポーター養成講座	南陽市社会福祉協議会 宮内小びよっこ対象 (ボランティアサークル)	佐々木利典 山岸 篤史
R4. 7. 28 他	認知症介護実践リーダー研修	山形県	〃
R4. 7. 31	介護福祉士基本研修	山形県介護福祉士会	〃
R4. 8. 1	施設実習指導者講習	山形県介護福祉士会	〃
R4. 8. 31 他	認知症対応型サービス事業管理者研修	山形県	〃
R4. 9. 12 他	授業講義	山形市立済生館看護学院	〃
R4. 10. 9 他	有料ホームはな 職場内研修会	有料ホームはな	〃
R4. 11. 14	介護職種の技能実習指導員講習	山形県介護福祉士会	〃

7. 苦情受付と対応

令和4年度はなし

8. 特別養護老人ホームこぶし荘

～ 介 護 課 ～

(1) サービス全般について

今年度は、コロナ禍3年が経過しワクチン接種も5回目を数えた。感染症対策の徹底を日常的に呼び掛けながら施設内3密を避けるケアを行ってきた。また、三棟（東西南）のケア充実を図るため、チームケアを重視し入居者様に寄り添うケアに取り組んできた。

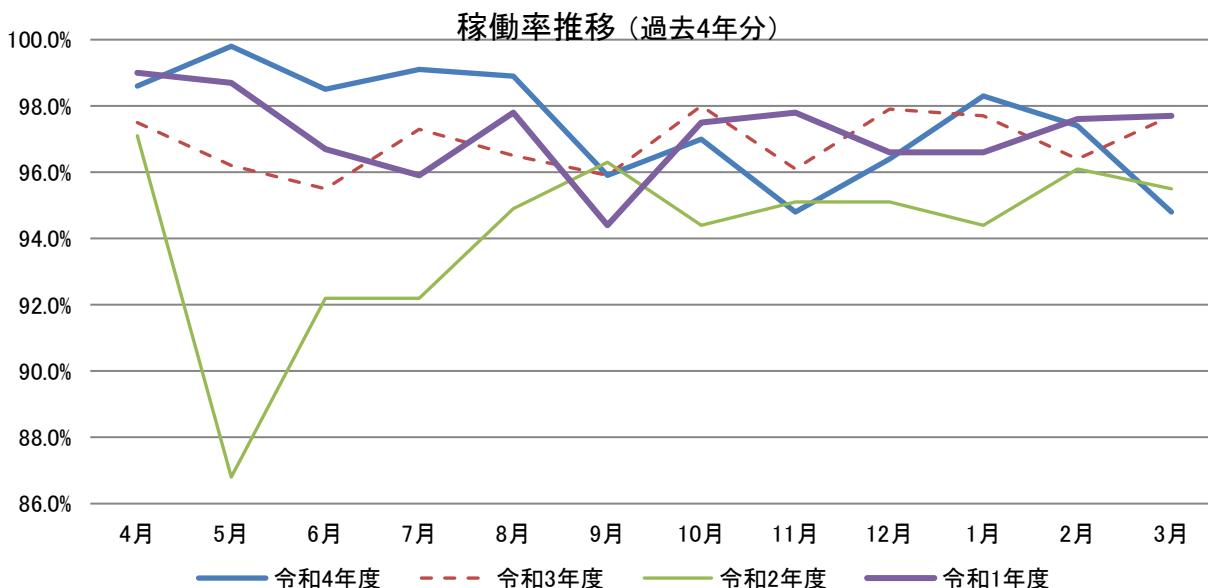
各棟ともに看取りケア対象の入居者様も増え、ご家族との情報共有を大切にしながら、「思いを繋ぐケア」にこだわった。ご家族との交流機会も制限されており、写真入りの手紙を作成し入居者様の生活状況をお届けする回数を増やしたり、ライン面会・窓越し面会・看取り面会等の取り組みを行った。入居者様の安心安全な生活を支えるため、多職種連携を図り充実した介護に今後も取り組んでいく。

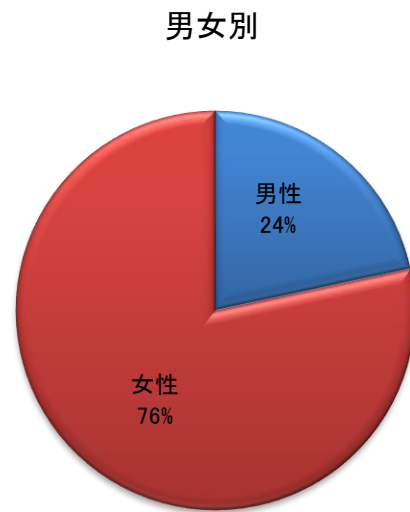
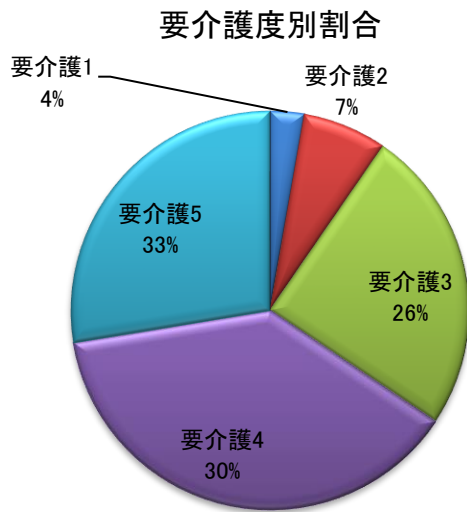
(2) 利用状況（令和5年3月31日現在）

① 要介護度・月別

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実人数
要介護1	90	93	90	93	93	120	100	90	93	124	140	155	1,281	5人
要介護2	270	310	300	310	310	300	310	300	310	248	252	248	3,468	8人
要介護3	1011	1054	977	1023	961	891	823	835	830	907	792	846	10,950	30人
要介護4	1123	1116	1129	1175	1143	1020	1067	955	1090	1078	952	1010	12,858	34人
要介護5	939	1015	932	961	1050	1043	1122	1119	1142	1178	1026	1150	12,677	38人
合計	3,433	3,588	3,428	3,562	3,557	3,374	3,422	3,299	3,465	3,535	3,162	3,409	41,234	115人
利用率	98.6	99.8	98.5	99.1	98.9	95.9	97.0	94.8	96.4	98.3	97.4	94.8	97.4	

平均介護度 3.80（昨年度 3.73） ※ 平成31年度全国平均介護度（全老協統計）





要介護 3、4 で認知症を根底に抱えた車椅子介助の方が多く、日常生活全般に見守りや援助を必要とする入居者が約 6 割となっている。施設内でも高齢化、重度化が進んでおり看取り介護の対象者増と相まって前年度より平均介護度が 0.07 上がっている状況がある。

③ 市町村別

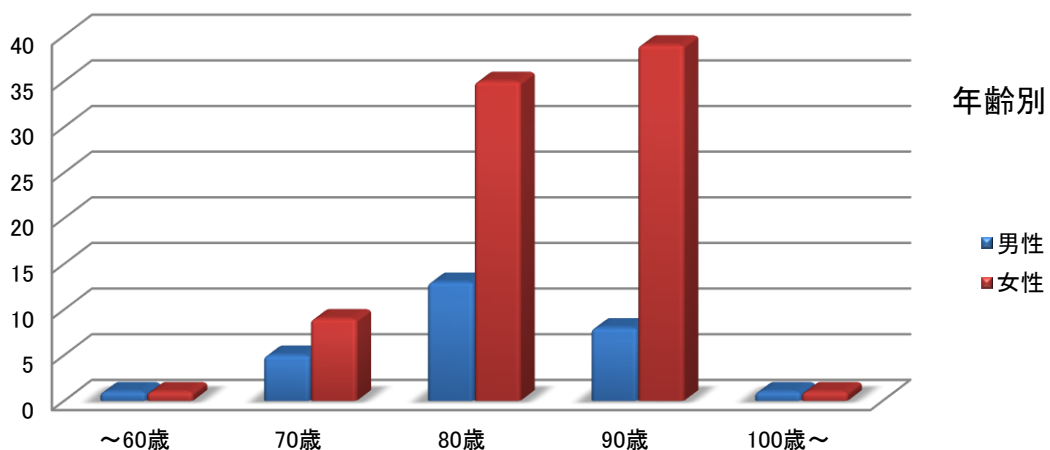
実人数

市町村	南陽市	米沢市	高畠町	川西町	その他	合計
人数	103	1	7	3	1	115

④ 年齢別

実人数

区分	～60歳台	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	平均
男性	1	5	13	8	1	85.0歳
女性	1	9	35	39	3	88.1歳
計	2	14	48	47	4	86.5歳



現在の入所者の年齢構成は、80歳以上が86%を占める。高齢者の特徴でもある複数の疾患を抱えている入居者の中で、全体の76.5%が認知症の診断を受けている。その他、ご家族も含めた様々な社会的環境が入所要因になっているケースも増えている。

(3) 入退所の状況

実人数

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	入院死亡	希望退所	計	南陽・高島・川西・長井
男 性	8	0	0	8	9
女 性	17	2	3	22	21
計	25	2	3	30	30

死亡退所の内訳	施設内	入院先病院	退所後病院死亡	計
人 数	25	2	3	30
平均年齢	91.3	85	86	87.4

(4) 日常生活の状況

実人数

区 分	歩 行				食 事			入 浴		排 泄	
	自立歩行	歩行介助	車いす使用	ベッド生活	自力摂取	一部介助	全部介助	個浴・中間浴	機械浴	自立・一部介助	オムツ使用者
実数	5	4	77	29	69	12	34	69	46	21	94

(5) 認知症高齢者の状況

実人数

区 分	男性	女性	計
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	21	67	88
(全体に占める割合)	18.3%	58.3%	76.5%

(6) リハビリテーション

① リハビリ実施状況

項 目	実施日	月	火	水	木	金	計
個別リハビリ	週 1 回	8	10	7	6	5	36
	週 2 回	実施日			実施日		1
集団リハビリ				東棟	南棟	西棟	

- ・入居者の体調や会議等により実施曜日は前後することあり。
- ・その他：曜日不定期3名、週5回（月～金）2名、隔週（月）1名

② リハビリの内容

項 目	リハビリの内容		
個別リハビリ	●歩行訓練（平行棒、歩行器、杖等）	●起き上がり訓練	●座位保持訓練
	●立ち上がり訓練	●筋力訓練	●移乗訓練
	●ROM-EX（関節可動域訓練）	●ポジショニング	●作業活動
集団リハビリ	●歌体操	●脳トレーニング	●回想法 など

～ 医 務 課 ～

(1) サービス全般について

入所者の心身の健康を維持し、日々の生活を安全で健やかに過ごせるよう、嘱託医との連携、身元引受人との情報共有により健康管理に努めた。生活面では、多職種との連携を図りながら生活レベルの低下防止に取り組んだ。

(2) 医 療

① 嘱託医の診療

嘱託医	診療科目	診療日
川合厚子 嘱託医	内科	毎月第2・4週木曜日
佐藤忠宏 嘱託医	精神科	毎月第3週木曜日
川合厚子 医師	内科	オンコール対応
阿部友宏 歯科医	歯科	随時回診
後藤颯一 歯科医	歯科	随時回診

川合厚子嘱託医による日常的な診療のほか、個人の状態に応じた必要な処置と、専門医への通院診療が行われた。

認知症疾患に関しては、佐藤忠宏嘱託医による定期診療と、また先生指導による処遇に関する施設内研究など、専門的かつ積極的な取り組みがなされた。

オンコール体制は、川合厚子嘱託医・佐藤忠宏嘱託医による日々の診療体制を取っている。

歯科診療については、阿部友宏歯科医・後藤颯一歯科医師の往診治療、口腔衛生指導により、多くの入居者の口腔衛生が保たれ、入所者と家族から好評を得た。

② 感染症等対策

項 目	人数	実施時期
胸部エックス線検査	73名	令和4年9月20日～9月30日
インフルエンザワクチン	99名	令和4年12月22日・令和5年1月12日
肺炎球菌ワクチン	8名	令和5年3月9日
4回目新型コロナワクチン	100名	令和4年7月28日
5回目新型コロナワクチン	103名	令和5年1月17日

- ・弱酸性次亜塩素酸水、アルコール消毒による日常的な衛生管理や清掃を実施
- ・レジオネラ菌対策～浴槽の清掃、消毒薬の使用、水質検査などを実施
- ・ノロウイルス等対策～うがい、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒（週1回及び随時）
- ・新型コロナ感染症予防のため、新型コロナワクチンを行政指定回数施行。行政指導により、ゾーニング・感染対策研修会を開催。また、出退勤及び面会時の検温とマスク着用、アルコールによる手指の消毒を実施した。
- ・令和5年11月19日に東棟にて新型コロナ感染症発症者確認。その後広がりを見せ、クラスター発生。川合厚子嘱託医による治療と指導の下、感染対策を実施。3週間で終息を迎える事が出来た。

(3) 入院・退院

入院者	退院者	入院中死亡者	継続入院者	長期入院による契約終了	その他
17名	9名	2名	3名	3名	0名

※入院者には、同一利用者の複数回入院が含まれます

入院者内訳

公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院	佐藤病院	公立高畠病院	米沢市立病院
0名	11名	2名	4名	0名

(4) 健康調査

入居者の健康管理上、健康状態の把握が重要なため毎月健康調査を行った

- ・日常的な健康チェック
- ・毎月定期的に血圧、体重測定を行って健康状態を確認
- ・年1回定期的に血液検査を実施した。また、体調不良時など随時、嘱託医の指示のもと、血液・尿等の検査を行い、健康管理に心掛けた。
- ・全入居者を対象に佐藤病院の協力を得て胸部レントゲン撮影を行った。受検者50人

(5) 職員の健康管理

項目	実施時期	受検者数	対象者
春季健康診断	4月	92名	全職員（健康保険未加入者除く）
秋季健康診断	10月～12月	49名	夜勤職員及びパート職員
インフルエンザワクチン	11～1月	114名	全職員
ストレスチェック	8月～11月	122名	全職員

春・秋の定期健康診断を実施し、その結果に基づき川合産業医の指導を得ながら職員の健康保持に努めた。要精検者に受診勧奨し職員の健康管理を行った。

コロナ禍のため、講師を迎えての健康講座はできなかったが、Webサイトの健康講話の資料を配布した。

毎月の安全衛生会議において、新型コロナウイルス感染症の情報・予防・対策等を話し合い、確認・周知をした。

また、各事業所の安全点検を実施し、安全で快適な職場づくりを目指した。

～ 給 食 課 ～

(1) サービス全般について

- [1] これまで同様に大量調理マニュアルに沿った衛生管理の徹底と食品衛生法改定に伴った、各種記録の整備を図り安心、安全な給食提供に努めた。栄養面においては食事摂取基準を参考に給食管理を行い、栄養マネジメントにて個々の栄養状態の維持、改善、悪化予防に努めた。
- [2] 食べる楽しみについて、昨年度より「麺の日」の回数を増やし、麺類を好む入居者の楽しみとなるよう提供を行った。入居者より「おいしかった」の言葉多く頂戴した。しかし、12月～3月は調理員不足（2名病休）が影響して12、1月は1回ずつ提供、2、3月は出来なかった。来年度、人員が整い次第、また麺の日を少しずつ増やして行きたい。
- [3] 低栄養の予防・改善を図り利用者の生活の質を高めるため、食事形態においては刻み食に対して、食べやすく飲み込みやすいムース食を取り入れて、より安全、安心に食べていただけるように努めた。又、最後まで食べる楽しみを支援するため、看取り介護者へは最期まで口から食べる支援を行った。
- [4] 新人職員及び中堅職員の指導、教育については継続が必要。

① 適時適温食事

朝 食	昼 食	夕 食
7：50～	11：50～	17：20～

温冷配膳車導入により、適切な温度帯により、食事のおいしさ、食中毒細菌増殖温度帯の回避、異物混入防止など、安全でおいしい食事提供の実現。

② 栄養ケアマネジメント

多職種協働による栄養ケアマネジメント体制で入居者全員を対象とし栄養状態の維持、改善を図った。おひとりおひとりに合わせた栄養ケア計画を作成し、家族に説明し同意を得て実施した。また定期的にモニタリング、評価し、作成した計画について見直しを行い、計画の変更があった場合は、その都度同意を得るよう努めた。

栄養ケアでの栄養リスク判定では採血での血清アルブミン値をスクリーニングに反映させるようになり、低栄養のリスクレベルが高リスクの方が増加、看取り介護の方も常時20名程度おられた。食事量が減少された方については、随時食事内容の検討を行い対応した。重度化による食形態が小刻み食・ミキサーの方が全体の7割程度を占めた。

項 目	単 位	栄養摂取量基準値 (令和4年度)	一日平均摂取量 普通食	一日平均摂取量 粥 食
熱 量	kcal	1507	1545	1326
蛋 白 質	g	59.0	56.5	51.0
脂 質	g	42.7	39.3	39.4
カルシウム	mg	627	715	705
鉄	mg	6.2	10.8	9.9

レチノール活性当量	μg	689	451	437
ビタミン B1	mg	0.85	0.98	0.89
ビタミン B2	mg	0.88	1.01	0.95
ビタミン C	mg	100	85	74
塩分	g	6.7	9.2	9.0

※ 日本人の食事摂取基準（2020年版）の数値を献立作成に用いながら栄養アセスメントで算出した個々人の必要量の充足に努めた。（上記表はその平均）

③ 給食費

年間食数	一日平均単価／人
125,320食	795円

給食費とは別に、夏場の熱中症・脱水予防対策としてお水のゼリーを活用（2880パック ¥248,832）

1日平均単価が高値となった要因が2つあり、一つは世界情勢の悪化による原油や輸送費の高騰、円安、新型コロナウイルス等の影響による食材料費の値上げが年度中に何度もあったこと、もう一つは、12月から3月は調理員の欠員等で体制が整わず、完全調理品や冷凍のおかず弁当を多用したことである。

令和5年度は食材料の更なる値上げや鳥インフルエンザによる卵の高騰により、給食費について平均単価の上昇は避けられないと推測する。

（2）行事食

① 毎月の誕生日会～コロナ禍により例年と違った対応をとり祝福の継続を行った。誕生日当日には一人一人のご希望を伺い給食課で準備し、各棟の介護職員が入居者の祝福をした。

誕生日会食では季節感や豪華さを意識し、お祝い膳にふさわしい献立を提供し入所者に喜んで頂けるように努めた。

② 正月、ひな祭り、お彼岸、クリスマスなどに季節感あふれる行事食を提供した。

季節感を大切にしたり食事や伝統的な行事食などを通し、外出が思うようにできない入居者の方に四季を感じて頂くことが重要な役割だと思い、対応した。今後はさらに内容の充実を図っていく。

※行事食内容は、（資料1）のとおり

（3）衛生管理について

大量調理マニュアルに添った衛生管理に努めた。厨房は清潔区域・汚染区域に分かれ衛生面に配慮された環境の下、毎日の清掃消毒、衛生管理の継続をおこない、安心安全な食事提供を行った。全国的に新型コロナウイルスが猛威を振るう中、職員の体調管理の徹底、感染防止対策の継続に努めた。施設職員や利用者に感染者が発生した場合は使い捨て食器を活用し感染拡大防止に努めまた、衛生的に食事や水分補給ができるよう備蓄食品等の確保にも努めた。

（資料1）

令和4年度行事と行事食

月	日	行事内容	行事食
4月	14・15日	麺の日	みそラーメン
	18日	お花見献立	ちらし寿司、豚汁風煮、キャベツお浸し、さくら餅風デザート

	21日	麺の日	月見うどん
	28日	誕生会	たけのご飯、みそ汁、お刺身、莖立のり和え、プリン
5月	12日	麺の日	とりそば
	15・16日	麺の日	しおラーメン
	26日	誕生会	ゆかりご飯、みそ汁、かつおたたき、ふき煮物、抹茶ようかん
6月	9日	麺の日	めかぶうどん
	16日	麺の日	そうめん
	22・23日	麺の日	山菜そば
	30日	誕生会	しょうがご飯、みそ汁、エビフライ、里芋そぼろあん、もずく、青梅ゼリー
7月	6日	麺の日	そうめん
	14日	麺の日	ざる中華
	22日	誕生会	うめしそご飯、みそ汁、天ぷら、甘酢和え、卵豆腐、水ようかん
8月	5日	麺の日	冷たいうどん
	26日	誕生会	ご飯、みそ汁、天ぷら、冬瓜のそぼろ煮、酢の物、プリン
	26日	麺の日	もりそば
9月	6日	麺の日	そうめん
	16日	敬老会	赤飯、清汁、お刺身、豚角煮と大根煮、菊と胡瓜酢の物、梨・シャインマスカット（祝い菓子：上生菓子）
	22日	秋彼岸	おはぎ4種、牛乳、鶏八幡巻、小松菜煮びたし、ぶどうゼリー
	30日	誕生会	変わりご飯、いも煮、茶わん蒸し、菊とほうれん草おひたし、栗のムース
10月	5日	麺の日	うどん
	21日	麺の日	ラーメン
	28日	誕生会	栗ご飯、みそ汁、お刺身、菊とほうれん草白和え、さつま芋ようかん
11月	7日	麺の日	そば
	15日	麺の日	みそラーメン
	25日	誕生会	松茸ご飯、清汁、ムツの煮魚、高野豆腐炊き合わせ、お米のムース
12月	8日	麺の日	うどん
	16日	クリスマス会	ご飯、エビフライと唐揚げ、ホワイトシチュー、フルーツポンチ、ストロベリーヨーグルト、（練切クリスマス和菓子）
	22日	冬至	冬至南瓜
	23日	誕生会	まいたけご飯、みそ汁、かつおのたたき、里芋そぼろあん、プリン
	31日	麺の日	年越しそば
1月	1～3日	おせち料理	赤飯、伊達巻卵、棒だら煮、冷汁、五目豆、鶏の松風焼き、黒豆、昆布巻き、だいたいムース、紅白なます、きんとん、ブリ幽庵焼き、三日とろろ、さくら餅風デザート
	11日	麺の日	うどん
	25日	誕生会	変わりご飯、みそ汁、お刺身、冷汁、水まんじゅう風デザート
2月	3日	節分の日	ちらし寿司、清汁、ねぎとろ、五目豆、きなこプリン
	24日	誕生会	五目ご飯、みそ汁、エビフライ、なばなお浸し、豆乳プリン
3月	3日	ひな祭り	ちらし寿司、けんちん汁風煮、菜の花辛子和え、ヨーグルト
	24日	春の彼岸	ぼたもち4種、豚汁風煮、ぜんまい煮、ヨーグルト
	31日	誕生会	変わりご飯、清汁、お刺身、茶碗蒸し、さくら餅風デザート

※DSCは4月～1月に麺の日実施

～ 総務課 ～

事業計画の達成と安定した運営を図るため、社会的動向や介護保険を取り巻く情勢の変化に注視し、情報の収集と理事会・評議員会への報告・提案に努めた。

南陽やすらぎ荘の指定管理については、置賜広域行政事務組合と連携しながら運営協定に基づく健全な施設運営のサポートに努めた。新施設建設については建設工程表に基づき順調に工事が進捗し、令和4年3月22日竣工式、26日の引っ越しを経て運営を開始した。

人材確保と育成・定着については、今年度もコロナ禍により限られたなかでの活動ではあったが「南陽市就職面接会」等に参加しこぶし荘の魅力発信を行いながら求人活動を実施した。

令和3年4月の介護報酬改定以降、新加算の取得に向け準備を重ねてきた。今年度は令和4年9月から介護職員処遇改善支援加算の取得を開始し、職員の更なる処遇改善に努めた。また、科学的介護推進体制加算取得の体制が整い、令和5年1月から算定を開始した。

令和4年11月から12月にかけて発生した、こぶし荘、南陽やすらぎ荘での新型コロナウイルス感染症のクラスターについては、事業所、他職種が連携し感染拡大防止と収束に向け対応した。総務課職員も現場に入り、食事介助や清掃業務等のサポートにあたった。

財務関係においては、世界情勢の変化に伴い昨年度後半から物価が高騰し、特に電気料の高騰、食材料費の値上げが法人経営に大きな影響を及ぼした。このような状況に対応するためには、毎月の試算表提出が重要になることから、正確性と課題分析を重視し速やかな報告に努めた。

(1) 監査等

項 目	実施機関	実施日	主な内容
介護保険施設等集団指導	山形県	R5. 6	令和4年度の指導・監査、法令遵守、基準報酬 等
地域密着型介護保険施設等集団指導	南陽市	R5. 3	令和4年度の指導・監査、法令遵守、基準報酬 等
障害者雇用納付金調査	山形労働局	R4.10.5	障害者雇用促進法に基づく訪問調査 結果：概ね適正
指定管理者監査	置賜広域行政事務組合	R4.10.13	結果： 物品購入に係る請求書に請求日の記載漏れ1件
山形県指導監査（南陽やすらぎ荘）	山形県	R5. 1.23	結果：栄養士を速やかに配置すること等
監事監査（事業・会計監査）	監 事	R4. 5.31	結果：概ね適正
診療所立入検査（書面検査）	置賜保健所	R5. 3.10	結果：特になし

(2) 情報公開

項 目	公開先	内 容
財務諸表等電子開示システム	ワムネット（W e b）	現況報告書、財務諸表 等
介護サービス情報公表	山形県（W e b）	事業所の介護サービス情報全般
山形県医療機関情報ネットワークシステム	山形県（W e b）	施設内診療所（医務室）と嘱託医情報

情報開示資料（閲覧）	法人事務所	事業計画、事業報告、決算書、監事意見書 等
法人ホームページ	W e b	定款、事業計画、事業報告、決算書、現況報告書、利用料金表、求人情報 等
法人広報誌（市内全戸回覧）	市民・関係機関	施設の状況、決算状況 等

（３）諸規定整備

規定名	変更内容
給与規程	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、機能訓練指導員の配置定数不足期間の拘束手当、処遇改善手当の支給増額 ・期末手当支給率の業績連動方式への変更 ・介護職員処遇改善支援補助金から介護職員等ベースアップ支援加算に名称変更
処遇改善手当、処遇改善手当及び処遇改善支援手当支給細則	新設

（４）人材育成・確保

研修名	開催日	会場	参加
ナースセンター看護師求人説明会	R4. 9. 30	シェルター南陽	施設長、阿部事務員
介護福祉フェア	R4. 11. 11	グランドホクヨウ	施設長、阿部事務員
ナースセンター主催 看護の人材確保のためのセミナー	R5. 3. 2	オンライン	施設長

（５）表 彰

機 関 名	人 数
全国老人福祉施設協議会（勤続 15 年）	0 名
全国老人福祉施設協議会（勤続 20 年）	0 名
山形県社会福祉法人経営者協議会	5 名

（６）内部・内部研修

研修名	開催日	会場	参加
障害者雇用納付金制度記入説明会	R5. 3. 3	伝国の杜	佐藤事務員
社会福祉法人実務者決算講座	R5. 2. 13	オンライン	佐藤、阿部、鈴木事務員
社会保険事務講習会	R4. 11. 17	伝国の杜	佐藤事務員
山形県障害者技能競技大会	R4. 7. 6	ビックウイング	佐藤事務員
事務打ち合わせ会（内部）	R4. 5. 9、R4. 6. 13 R4. 9. 21、R5. 2. 24	会議室	こぶし荘総務課 やすらぎ荘管理課

～ 業 務 課 ～

- ① 令和4年度も業務員2名体制で建物、設備等の保守及び補修整備を行った。
- ② 経費削減のため、なるべく自前で補修作業を実施するとともに、南棟敷地も含め施設敷地内の環境整備作業を行った。
- ③ 経費削減のため、空調設備の温度管理や消耗物品等の在庫管理を徹底した。
- ④ 中央競馬馬主社会福祉財団（県共募経由）の令和4年度助成事業により、リフトバスを新車整備した。また、老朽化した日本財団助成車両の廃車手続きを行った。
- ⑤ 今年度もホイールローダや投雪型除雪機の使用により、有効な除雪作業に努めた。
- ⑥ 公益財団法人JKA補助事業により建築整備された福祉施設の補修事業補助金の交付要望により屋上・外壁の補修を計画したが、否採択となった。
- ⑦ 山形県ICT導入支援事業費補助金の交付を受け、タブレット4台と専用ソフトウェアを整備した。今後3年間、実績報告を行う。

(1) 主な管理整備関係

	項 目	内 容	備 考
1	花壇整備	環境整備として植栽	いちようの家
2	外周管理	DSC法面の調査、管理 芝生の除草、施肥、芝刈り等 法面草刈り、水路管理 南棟道路脇水路の沈殿物除去清掃 駐車場、避難道路の除雪、維持管理 小型ホイールローダ等除雪機械の管理、排雪作業 案内看板の維持管理 雪害による建物修繕	シルバー人材センター 保険対応
3	建物管理	月次内部定期点検による管理 各部修繕 床・壁紙改修に向けた調査・計画 さくらんぼ居室・静養室入替えに伴う作業（扉取付・カーテン設置等） 南棟竣工後の手直し作業 南棟玄関扉取付工事 デイサービス玄関ポーチ補修工事	 シェルター シェルター シェルター
4	温水発生器(ボイラー)及び給湯・温水配管類の保守管理	ばい煙測定、アスベスト調査の実施 床下配管の定期点検 デイサービス暖房用ボイラー更新	平成17年度「車両競技公益資金記念財団」助成事業
5	合併処理槽の保守管理	定期点検、定期清掃 法定・水質検査	既存棟・南棟
6	受水槽の保守管理	定期点検・清掃、法定・水質検査 既存棟受水槽上部塗装	既存棟・南棟
7	消防設備保守管理	誘導灯、発信機、誘導標識の更新 SP用非常発電機負荷運転試験実施 デイサービス防火戸制御盤等更新 非常用自家発電装置メンテナンス	
8	地下油槽保守管理	年1回の漏洩検査を実施	消防法

9	ガス設備保守管理	設備の更新	喜助
10	電気設備定期点検	毎月1回定期点検、年1回総合点検 デマンド管理	
11	空調・湿度管理	エアコンフィルター管理 加湿器の設置管理(中型加湿器の追加購入) 空調設備の制御	弱酸性次亜塩素酸水の活用
12	業務用洗濯機、乾燥機、汚物除去機の保守管理	乾燥設備主任作業者講習受講 消耗部品の交換	1998年度「国県補助事業」
13	屋上保守管理	春と秋の清掃、管理 大規模改修に向けた調査・計画	
14	水道関係保守管理	水道部品等消耗品の交換 床下配管補修、排水ポンプ更新 漏水調査及び漏水埋設配管修理	
15	自動ドア保守管理	年2回の保守点検	
16	レジオネラ菌検査	入浴前の浴槽湯を採取(異常なし)	
17	荘内清掃	清掃員による週4日の清掃作業 床洗浄・ワックス作業 業務員による窓ガラス、浴室等の清掃	
18	公用車の管理	「日本財団」リフトバス1台、 「24時間テレビ」リフトバス、 「日自振」リフトバス、 「競馬財団」スロープ付軽自動車 等公用車の積極的な活用及び管理 リフトバス操作講習(今年度未実施) 「競馬財団」助成事業によりリフトバス整備及び2003年度日本財団助成車両廃車手続き	2006年度「日本財団」福祉車両助成事業 平成18年度「24時間TV」寄贈 平成19年度日本自転車振興会補助事業 平成25年度・令和4年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
19	機械浴槽の保守管理	特殊機械浴槽の更新整備 車いす入浴装置の保守管理	中間浴槽修理(今後部品調達不可の報告)
20	介護用品等の管理	車いす、電動ベッド等の補修 東棟ゾーニング対策物品等整備	
21	厨房機器の修繕等	スチームコンベクション・給湯器等 修理、保管庫追加設置	
22	寝具類管理	次年度一部入れ替えに向けた検討	
23	ホームページ更新	リニューアルのための撮影等調整	
24	バイタル監視型ベッドセンサーの運用管理	令和4年度の年間使用状況報告	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業

(2) 防災に関する協定一覧

	名 称	締結日	相手方
1	川樋地区 防災協定書	平成18年12月30日	川樋地区長(こぶし荘防災協力会会長)
2	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 災害時施設相互応援協定	平成20年7月8日	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 会員施設長
3	災害時における福祉避難所の指定及び使用に関する協定書	平成28年2月15日	南陽市長

9. こぶし荘ショートステイ

(1) サービス全般について

ショートステイ（短期入所生活介護）は、地域包括ケアの推進によりその重要性が高まるなか、生活相談員を窓口として多様なニーズへのケア（生活の質の更なる向上や心身の健康維持・活性化、介護者の介護負担軽減、突発的な事情への対応等）と各事業所、介護支援専門員をはじめとした専門職、ご家族との細やかな連携や調整に心がけた。

また、担当介護支援専門員主催のサービス担当者会議に出席した際には、最新のニーズ把握のため情報共有、意見交換を積極的に行った。もう一方で、内部の職種間連携を大切にしながら、リスク検証を行い安全・安心なご利用を目指した。今後もさらにサービスの充実を図り、利用者・ご家族の笑顔が在宅介護の継続に繋がるよう努めていく。

※事業計画に基づき、令和3年5月1日付にて特養の入院者ベッドの有効利用と市内特養待機者の解消に資するため、併設型8床を2床に変更。

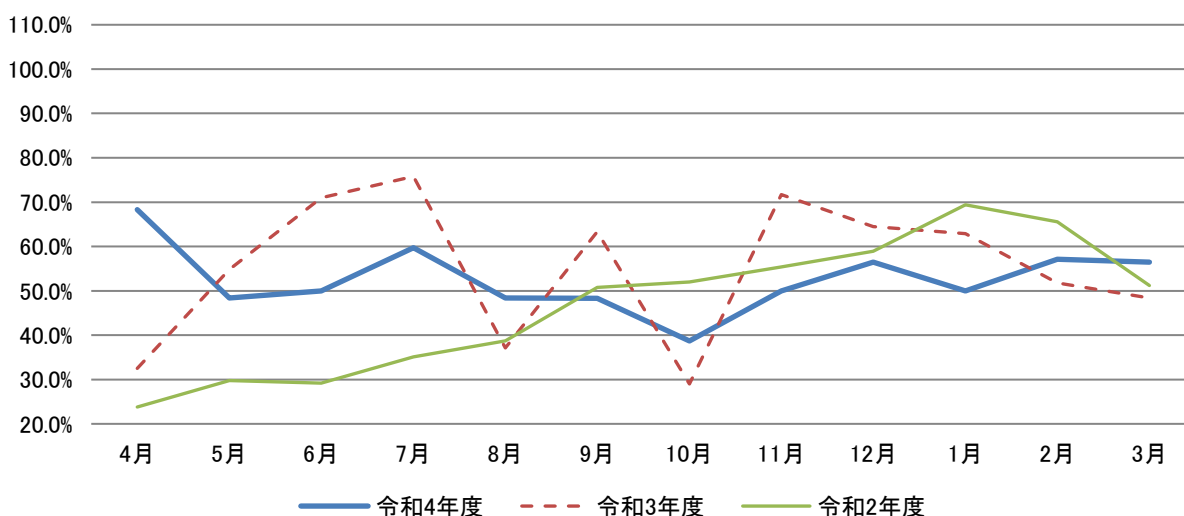
(2) 利用状況

① 月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用延べ人数	41	30	31	37	30	29	24
稼働率	68.3%	48.4%	50.0%	59.7%	48.4%	48.3%	38.7%
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延べ人数	30	35	31	32	35	385人	
稼働率	50.0%	56.5%	50.0%	57.1%	56.5%	52.65%	

	延べ利用者数	月平均	平均稼働率	平均介護度
令和4年度	385人	32人	52.6%	3.00
令和3年度	463人	39人	55.2%	3.11
令和2年度	1,360人	113人	46.6%	2.92

稼働率推移(過去3年分)



今年度も地域の新型コロナウイルス感染状況を見極めながら受け入れには十分に配慮した。特には、ご家族を含むご利用者の近況を確認しチェックシートを活用してリスク管理した。また、利用開始時のバイタルサイン測定とともに抗原検査を毎回実施させて頂いた。ご利用中はショ

ートステイ専用居室を設定し、入居者との距離を空けながら感染防止に努めた。

② 要介護度別

実人数

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0	0	3	2	2	4	2	13 人

③ 男女別

実人数

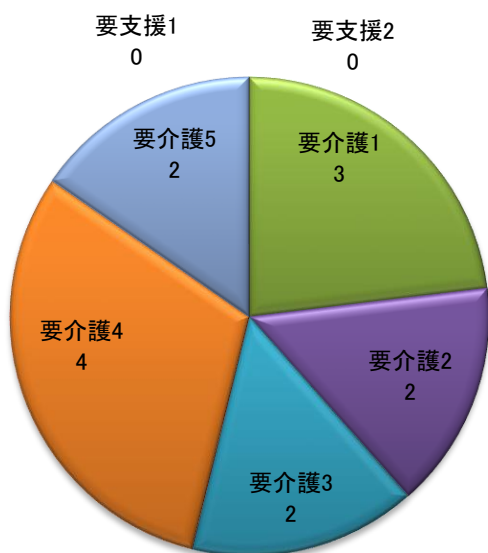
男性	女性	合計
8 人	5 人	13 人

④ 地区別

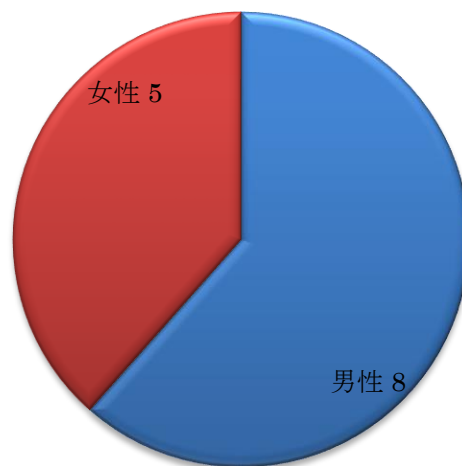
実人数

吉野	宮内	漆山	梨郷	沖郷	赤湯	中川	その他	合計
0	3	1	0	2	3	4	0	13

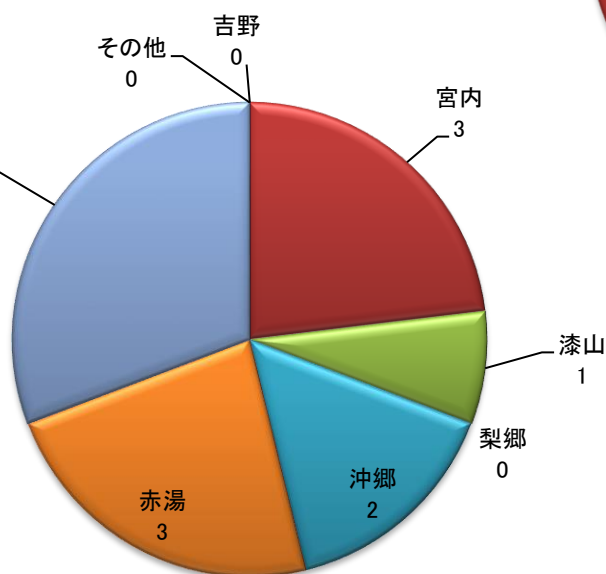
介護度別



男女別



地区別



10. こぶし荘デイサービスセンター

(1) 総括

1. 利用状況

地域密着型通所介護及び総合事業の多様な利用形態に対応する為、営業日の調整及び日課の見直しを図るとともに、人員配置減による利用者サービスの低下をきたす事の無いよう、各部署の協力を受け健全経営に努めた。

2. 職員体制

職名	現員	備考	職名	現員	備考
管理者	1	兼務	ケアワーカー	1	
事務員	1	兼務	看護師	1	兼務
栄養士	1	兼務	機能訓練指導員	1	兼務
業務員	1	兼務	兼務計	8	
生活相談員	2 (1)	常勤 (兼務)	専任計	4	
介護福祉士	3 (1)	常勤 (兼務)	合計	12	

3. 職員研修

職場内研修会への積極的参加を図り、職員の資質向上及び処遇技術の向上に努めた。また、防災安全に関しても重点をおき訓練等を実施した。

主な研修会等	参加	人数
◇ 令和4年度 県デイサービスセンター部会職員研修会	0	0
◇ 県老協協デイサービスセンター部会生活相談員研究会 (総会)	0	0
◇ 県老協協デイサービスセンター部会生活相談員研究会 (定例会)	0	0
◇ 置賜地区デイサービスセンター生活相談員研究会	0	0
◇ 居宅会議	0	0
◇ 運営推進会議	2	4
◇ 危険物取扱者保安講習	1	1
◇ 地域密着型介護施設集団指導	書面開催	1

※感染症蔓延により、外部研修会の開催がありませんでした。

(2) 利用実績

① 実人員 (性別、利用別)

介護度	要介護					総合事業					計
	1	2	3	4	5	通12	通21	通22	通31	通32	
男性	4	4	2	1	3	0	0	0	0	0	14
女性	17	3	5	2	2	4	0	5	0	0	38
計	21	7	7	3	5	4	0	5	0	0	52

② 地区別

地区	吉野	金山	宮内	中川	漆山	赤湯	梨郷	沖郷	施設	市外	その他
男性	1	0	0	9	0	0	0	0	4	0	0
女性	1	0	0	27	0	2	0	0	8	0	0
計	2	0	0	36	0	2	0	0	12	0	0

③ 入浴別

特別浴	介助浴	シャワー浴	入浴なし	その他
12	40	0	0	0

④ 利用状態別

利用中	休止中	入院中	入所	死亡	サービス移行	新規
37	0	1	6	5	3	11

令和4年度の地区別利用者割合（実人員）は地元が69%ほど、次いで施設が23%、ついで赤湯地区となっている。

南陽やすらぎ荘の指定管理者となり、施設からの利用者が増加となっている。

令和4年度の介護度別利用者割合は要介護1及び要介護2で54%を占めている。

要介護3は全体の14パーセント。要介護4は6%であり、要介護5の割合も10%と少なくなっており、施設入所に伴う影響と考えられる。

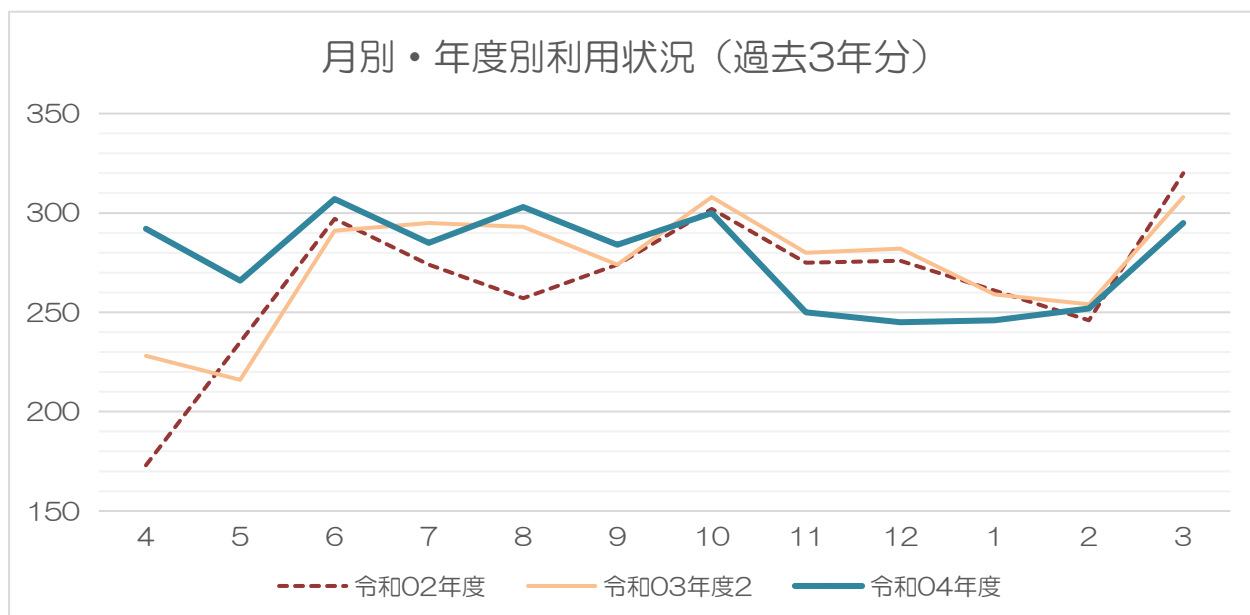
利用状態別割合は、年間を通して56%程の方が継続してご利用されている。新規の利用者も上がっているが入所による利用者減が顕著である。当年の入所、ご逝去による利用終了は17%程となっている。

※サービス移行（ショートステイ利用、小規模多機能）の方が増えている。

⑤ 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業日	20	19	22	20	21	20	20
要介護	248	231	265	254	269	235	256
総合	44	35	42	31	34	49	44
利用者計	292	266	307	285	303	284	300
利用率	90.1%	86.4%	86.1%	88.0%	89.1%	87.7%	92.6%
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
営業日	20	20	19	19	22	242日	
要介護	213	208	207	210	241	2,837人	
総合	37	37	39	42	54	488人	
利用者計	250	245	246	252	295	3,325人	
利用率	77.2%	85.1%	89.9%	91.7%	82.8%	87.2%	

※要介護における年間キャンセル率は、8.9%（予定件数3,111名：キャンセル274名）



（3）利用者日課と行事

時間	利用者の活動	業務内容	人員
08:00		出勤・送迎車点検・除雪（冬季） ミーティング、受け入れ準備	④ ④
08:30	送迎バス出発	乗車介助・宅内介助	⑤
09:30	送迎バス到着	受け入れ・移動介助・連絡帳確認及び記入・ミーティング	⑥
09:40	健康チェック	バイタルチェック	
10:00	茶話会 入浴 個別リハ、レクリエーション活動	4名体制＋看護師 入浴介助（介助浴・特別浴）・浴室清掃 ホール対応	⑤ ④ ①
11:30 12:00	入浴終了 昼食	昼食準備・配膳 食事介助（昼当番）2名（他休憩） 口腔ケア・排泄介助・移動介助	⑤
13:00	休養	連絡帳、日誌類記入（昼当番休憩）	
13:50	送迎出発（総合事業送り）1台	次回予定説明・送迎介助	①
14:00	健康チェック	健康チェック・排泄介助・水分補給・レク準備	② ②
14:20	個別リハ、レクリエーション活動	レク・リハビリ活動指導	③
14:50	送迎バス到着（総合事業送り） 手作りおやつ 茶和会・懇談	翌日利用者の確認・連絡・次回予定説明 相談等・記録（データ入力）・送迎準備	④
15:20	帰宅準備	連絡帳配布・排泄介助	④
15:40	送迎バス出発（2～3台）	送迎介助	⑤
16:50	送迎バス到着	送迎バス到着・清掃 翌日利用者受け入れ準備 ミーティング、記録（データ入力）	⑤
17:00		退勤	⑤

月 別 行 事 実 績			
4月	・室内ゲーム	10月	・秋祭り（縮小開催） ・OTによる軽体操
5月	・花壇花植え	11月	・室内ゲーム ・OTによる軽体操
6月	・短冊書き ・かき氷屋さん	12月	・クリスマス会
7月	・七夕飾り付け ・笹つづり制作	1月	・団子下げ
8月	・スイカ割り	2月	・節分豆食い（甘納豆）
9月	・敬老週間 ・芋煮会	3月	・雛祭りかざり・室内ゲーム

（４）運営推進会議

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月10日	2名	3名	活動状況及び利用者の状況報告
11月17日	2名	3名	活動状況及び利用者の状況報告

（５）非常災害対策

こぶし荘防火管理並びに消防防災計画に基づいて防災関係機関との連携を図り非常災害対策及び訓練を行った。

- ◇ 防火管理者 近野生活相談員（DSC）
- ◇ 消防防災設備定期点検 9月13日、3月7日
- ◇ 消防防災設備立入検査 置賜広域行政事務組合消防本部 なし
- ◇ 消防防災設備点検届出 置賜広域行政事務組合消防本部 9月分
- ◇ 夜間非常通報訓練 11月10日一斉メール、電話で実施
- ◇ 非常災害対策訓練 総合防災訓練2回
 （第1回） 6月4日 通報、避難誘導、初期消火訓練、防災協力会総会
 重点項目：消火器訓練、救急救命訓練、地震対応
 （第2回） 11月9日 図上訓練
- ◇ 協力依頼 ～ 南陽消防署、地区消防団、防災協力会、防災設備会社

（６）施設管理、環境整備、その他

- ① プレハブ倉庫の管理～介護用品、季節用品などの整備、保管
- ② リフトバスの補修整備（車検整備1台・洗車、室内清掃、WAX掛けを業者委託）
- ③ 床下ピット内排水作業、センター外周側溝清掃
- ④ 給湯用ボイラー、暖房用ボイラーの保守管理及び修理（暖房用ボイラーの更新）
- ⑤ 浄化槽の保守管理（排水ポンプの管理）
- ⑥ ロータリー整備、植木、花壇の管理
- ⑦ 除雪機の整備及び保守管理、駐機場整備
- ⑧ 特浴槽、利用者用シャワートイレ、トイレ手洗い自動水洗の保守
- ⑨ 入浴用バスタオル、フェイスタオルをリース継続
- ⑩ センター玄関サーマルカメラの保守管理（感染症対策）
- ⑪ 感染症対策強化に努め各種備品の購入、消耗品の確保
- ⑫ 玄関先ポーチ補修
- ⑬ 非常口誘導灯、防火ドアセンサー交換
- ⑭ マイマイ蛾大量発生に伴う消毒

1 1. こぶし荘在宅介護支援センター

(1) 総括

介護保険における包括支援システムの構築に伴い、自立支援の観点に基づきながら、ご利用者の心身の状況、環境等に応じた適切な介護保険サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう総合相談窓口としての活動を行った。

今年度はコロナウィルス感染流行が落ち着いてきたものの、本人を取り巻くサービス事業所や、家族などの感染などが発生し、サービス縮小や代替えのサービス調整等で、業務負担が増えていた。利用実績数は秋口までは好調だったが、冬季に入り、利用者の高齢化に伴い、死亡や入所があり、徐々に件数が減ってきていた。年間実績数は昨年より上回ったが、新規相談、依頼者数は昨年度の半数に満たない状況で、しかもサービスに結び付かないケースも多い状況だった。

令和5年、コロナウィルスがインフルエンザと同じ5類へ移行となり、感染予防は各自の判断に任せられるが、引き続き感染予防対策は継続していく。また、自粛していた在宅介護説明会・認知症サポート研修会等を「研修・地域連携委員会」と共に開催を目指し、地域との連携を深め、介護保険・在宅介護相談の啓蒙を図り、利用者獲得に取り組んでいく。

(2) 利用実績

① 在宅支援事業

1) 業務別件数

項目	件数
1.相談延べ人数	2542 人
2.訪問延べ件数	985 件
3.連絡調整	1822 件
4.手続き代行	48 件

2) 相談内容別件数（延べ）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.介護相談	25	15	18	35	33	31	32	23	33	21	7	20	293
2.健康相談	17	10	16	44	15	24	27	45	52	25	13	25	313
3.医療相談	6	6	13	23	17	21	14	36	17	16	10	14	193
4.ホームヘルパー	24	21	19	29	20	24	17	23	17	14	15	14	237
5.デイサービス	61	60	58	63	56	69	63	74	85	69	62	61	781
6.ショートステイ	8	9	5	12	6	6	5	6	17	12	8	8	102
7.リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.デイケア	4	2	3	6	4	4	3	10	4	5	4	5	54
9.福祉介護用品	62	45	45	50	38	47	42	63	47	43	47	44	573

10.住宅改修	0	1	0	0	3	1	0	6	2	0	0	0	13
11.施設入所関係	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
12.訪問入浴	5	7	3	4	3	5	3	4	6	3	6	4	53
13.保健福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14.訪問看護	6	6	6	10	9	10	6	9	8	8	14	8	100
15.その他	12	11	21	27	22	30	16	30	19	16	23	30	257

② 居宅介護支援事業

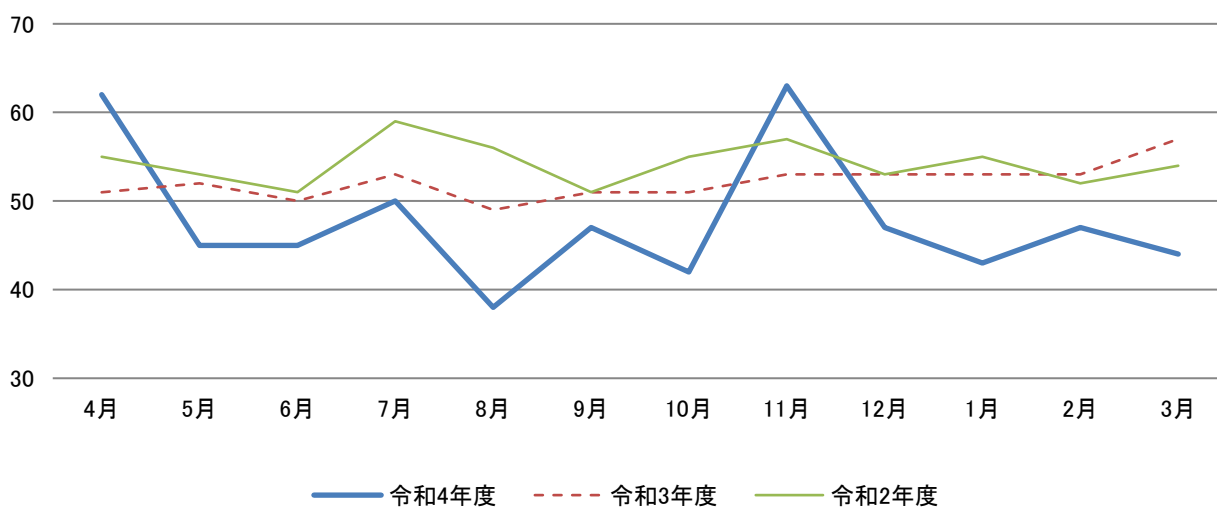
1) 居宅介護支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査委	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付管理	55	55	54	58	55	58	56	55	53	52	51	48	650
予防給付	13	13	13	13	13	13	13	14	11	12	12	12	152

2) 移動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.新規相談	0	0	2	2	2	1	1	1	3	1	1	1	15
2.保険外相談	1	1	1	0	1	4	2	0	1	2	0	0	13
3.入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
4.入院	0	0	1	1	3	1	0	4	3	0	2	1	16
5.死亡	0	0	0	1	0	1	0	3	1	0	0	2	8
6.ケアマネ依頼	0	0	2	1	2	2	1	0	2	1	1	1	0

月別・年度別稼働率状況（居宅介護支援費＋予防委託）過去3年分



12. こぶし荘認知症高齢者グループホーム こぶしの家

(1) 総 括

地域密着型・認知症対応型の施設として利用者の尊厳、主体性、可能性を強く意識しながら、法人の理念にケアの実践を重ねる取り組みができた。本人また、家族の身体的・精神的安定を最優先に、説明と同意の重要性、協力と信頼関係づくりを柱に「もう一つの家」「もう一つの家族」をイメージしたユニットケアを心がけた。

その中でも、市オレンジカフェ連絡会は、新型コロナウイルス感染症の影響の中、3回開催され2回の出席となった。南陽市キャラバンメイト連絡会は、6回開催され3回出席し出席できない場合は、他部署の出席された職員と情報の共有を図った。オレンジカフェは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり事業所内での開催は出来なかったが、認知症サポーター養成講座を地域に赴き2回参加した。また、入居者の外出機会と趣味活動、人となりを理解し得意分野を活かした取り組みと認知症介護研究・研修センターアセスメントシート（センター方式）の活用を継続して行っており利用者主体の生活に結びついている。健康管理は職員による一日3回の検温などの健康チェックまた、法人内や通院をはじめとする様々な医療連携、口腔衛生の重要性に基づく歯科医・歯科衛生士との連携・協働とケアの実践は継続して行っており利用者の健康管理に不可欠となっている。また、体調不良時3回の救急対応や5人の入退所があり、身元引受人様、医療機関との情報共有を図りながら利用者一人ひとりの生活の構築に結びつけることが出来た。

新型コロナウイルス感染症対策を重要視し感染の動向を見ながら、市オレンジカフェ連絡会やキャラバンメイト連絡会と協力しながら市民との様々な交流の機会を設けることや職員の認知症ケアに関するスキルアップを今後も継続して実践していきたい。

(2) 利用者の状況

① 月別・介護度別

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
要介護1	13	30	34	62	62	60	62
要介護2	30	31	30	31	31	30	31
要介護3	180	186	180	186	163	180	186
要介護4	30	31	17	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0
利用者計	253	278	261	279	256	270	279
利用率	93.7%	99.6%	96.7%	100%	91.8%	100%	100%
入院・外泊	13	4	46	51	49	49	29
区分	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
要介護1	60	62	90	84	93	7 1 2 人	
要介護2	10	31	31	28	62	3 7 6 人	
要介護3	180	178	155	140	124	2, 0 3 8 人	
要介護4	0	0	0	0	0	7 8 人	
要介護5	0	0	0	0	0	0 人	
利用者計	250	271	276	252	279	3, 2 0 4 人	
利用率	92.6%	97.1%	98.9%	100%	100%	9 7 . 5 %	
入院・外泊	0	0	0	0	0	(入所までの空きベッド81日)	

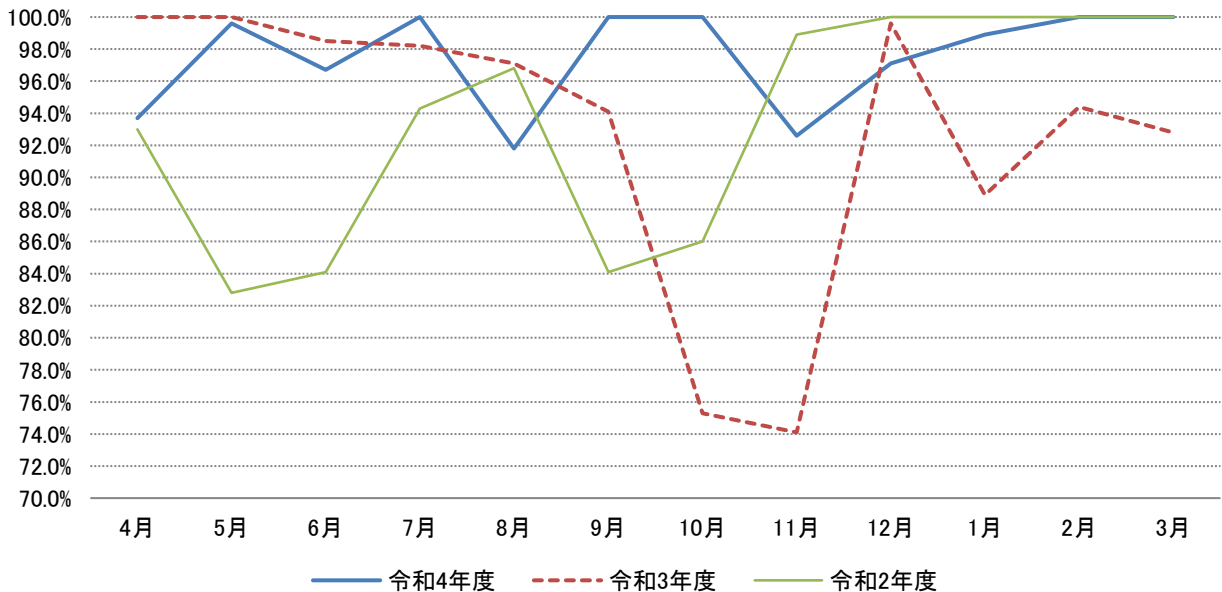
② 年齢別

区分	～60歳台	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	平均
男性	0	1	2	0	0	80.7
女性	0	2	2	2	1	85.5
計	0	0	4	2	1	83.9

③ 入退所の状況

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	長期入院	その他	計	南陽市
男性	0	2	1	3	2
女性	0	1	1	2	3
計	0	3	1	5	5

月別・年度別稼働率状況(過去3年分)



(3) 利用者サービスと日課

利用者の生活は、様々なアセスメントの機会から把握した「人となり」に寄り添うことで繋がっていく。職員のこだわりは、「利用者のペース」と「どう暮らしたいか」の思いの察知にある。認知症ケアは尊厳のケアであることと、職員が意識化すべきことは利用者主体の理念であるとして1年間実践してきた。家族、地域、医療、行政等様々な機関との連携が、安心して地域で暮らせる力となっているという実感がある。地域行事への参加は、新型コロナウイルス感染症から出来なかったが、通院時のドライブや趣味活動、得意分野を活かした取り組みから利用者の笑顔を頂いている。今後も利用者主体のもと利用者に合わせて時間、行事やレク、季節感のある食事や外出の機会など楽しみを見つめられるサポート役を担っていきたい。

一日の流れ（日課表）	
6:00	起床、洗面、着衣交換
7:00	朝食準備、加湿器水補給（使用期間）、清掃
7:30	朝食、後片付け、健康管理チェック
9:00	清掃、洗濯物畳み（前日の午後～就寝前の物）、洗濯（起床～朝食時の物）
10:00	お茶、レクリエーション 等
10:30	入浴、昼食準備
11:00	昼食準備
12:00	昼食、後片付け、洗濯物畳み（起床～朝食時の物）、洗濯（午前中の物）
13:30	休憩、トイレ清掃
14:30	レクリエーション、お茶、健康管理チェック、入浴 等
16:00	夕食準備、洗濯物畳み（午前中～昼食時の物）
17:00	夕食、後片付け、ゴミ収集、洗濯（午後～夕食時の物）
19:00	だんらん、トイレ清掃
19:30	就寝準備
20:00	就寝

（４）主な地域交流・家族交流

月 日	地域交流・家族交流
10月11日	こぶし荘秋祭り
11月 3日	中川地区文化祭（作品出店）中川公民館、11月2日見学

*新型コロナウイルス感染拡大のため、地域行事には参加出来なかったが、地域での感染状況と法人の感染症対策と照らし合わせながらバスハイクを実施した。

（５）運営推進会議

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準に基づいて2ヶ月に1回、計6回開催した。本人と家族の思い、市民の思いに寄り添うことを大切にし、当事者感覚でのケアの追求と運営を意識しながら実践することにより、更に質の高い介護を目指すことを目的とした。

開催日	出席者		主な内容
	外部委員	職員	
5月10日	3	3	入居者状況、4年度委員・細則、事業計画 他
7月12日	書面決裁	書面決裁	入居者状況、第1回総合防災訓練について 他
9月14日	3	3	入居者状況、敬老会・秋祭り開催について 他
11月17日	3	3	入居者状況、第2回総合防災訓練について 他
1月18日	3	3	入居者状況、感染症対策について 他
3月 8日	3	3	入居者状況、感染症対策、外部評価について 他

※建物や設備、電化製品や機器の交換・修繕について、また職員の研修受講に関してや外部の会議・研修会等への派遣状況についても、毎回の議題の中に採り入れた。

また、新型コロナウイルス蔓延防止のため、7月は書面決議にてご家族様代表、地区民生児童委員様、南陽市役所福祉課担当者様に資料配布させて頂いた。

(6) 防災訓練

日常の防火防災に努めるとともに、災害時には特別養護老人ホームこぶし荘職員と一致協力して災害に対応するよう訓練を行った。

- ・ 6月 4日 第1回総合防災訓練
- ・ 11月 9日 第2回総合防災訓練（図上訓練）
- ・ 11月10日 非常通報訓練

(7) 建物・設備管理

- ・ 電気点検 4月18日
- ・ 加湿器掃除、片付け 5月 6日
- ・ カーテン洗濯 4月25日、6月13日
- ・ シャワーチェア1台購入 6月18日
- ・ 軽量浴槽台購入 6月27日
- ・ ホールの肘付き椅子9脚購入 7月11日、12日
- ・ 全館ワックス掃除 8月31日
- ・ 浴室戸車交換 9月 8日
- ・ 消防設備点検 9月13日
- ・ 浴室脱衣所のヒーター交換 10月27日
- ・ 加湿器設置 11月 2日
- ・ リフトバスのタイヤ交換 11月17日
- ・ コピー機修理 11月28日
- ・ 冷凍庫購入 12月31日
- ・ 食洗器購入 1月23日
- ・ 更衣室ロッカー購入 2月10日
- ・ 消防設備点検 3月 7日、8日

※エアコンフィルター清掃、換気扇清掃は随時

13. 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘

(1) 総括

令和4年度は、新施設での運営が開始になるとともに、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止に係る対策を講ずるため、様々な業務及び物品購入がありました。特に11月から12月にかけて新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、感染対策物品等の購入が増加しました。

管理業務については、新施設になったことから様子見の1年となりましたが、冬期間の屋根からの落雪による除雪に伴う想定外の除雪費用が発生し、置広とも今後の対策を協議しました。

また、処遇業務の内、入所者に関する各種行事等については、新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの事業が縮小あるいは中止となりましたが、創意工夫をしながら入所者の処遇に努めました。

事業の概要及び入所者状況は以下のとおりです。

(2) 各種行事及び管理業務の状況

月	行事等の実施状況	修繕状況	保守点検状況
4	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体会議 花見(烏帽子山公園) 荘内花見 健康体操 地区内掃除 仏壇開眼供養 親睦会総会 	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽清掃用蛇口追加 シャワーヘッド位置調整 厨房天井裏からの水漏れ修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 公用車タイヤ交換 産廃物収集運搬 浄化槽保守点検
5	<ul style="list-style-type: none"> 映写会 防火扉訓練 健康体操 総合避難訓練 非常用放送設備等の機器操作訓練 屋内消火栓操作訓練 防災委員会 輪投げ大会選手選考会 		<ul style="list-style-type: none"> 産廃物収集運搬 浄化槽保守点検 公用車マーチ車検 電気設備定期点検
6	<ul style="list-style-type: none"> 観音様祭礼 県輪投げ大会(通信制) お楽しみ会 健康体操 	<ul style="list-style-type: none"> 配膳車修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 産廃物収集運搬 浄化槽保守点検
7	<ul style="list-style-type: none"> 参議院議員選挙不在者投票 お楽しみ会 健康体操 模擬喫茶 映写会 	<ul style="list-style-type: none"> 配膳車修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽清掃 厨房害虫駆除、清掃作業 産廃物収集運搬 浄化槽保守点検 公用車ノア12ヵ月点検 電気設備定期点検

月	行事等の実施状況	修繕状況	保守点検状況
8	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼会 ・お盆供養 ・お楽しみ会 ・健康体操 ・夜間避難訓練 ・防災委員会 ・アイス提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ISDN用ターミナルアダプター修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備、火災通報装置点検 ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬 ・荘内フロア床清掃 ・厨房内微生物検査
9	<ul style="list-style-type: none"> ・健康体操 ・敬老会 ・彼岸供養 	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳車修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス清掃 ・電気設備定期点検 ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬 ・自動ドア保守点検
10	<ul style="list-style-type: none"> ・芋煮会 ・健康体操 ・模擬喫茶 ・屋外大清掃 ・菊祭り見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルームエアコン室外機再取り付け ・食堂プロペラファン修繕 ・洗濯機センサー交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬
11	<ul style="list-style-type: none"> ・菊祭り見学 ・防災訓練 ・ゲーム大会 ・果物の日(柿) ・施設長と語る会 		<ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽清掃作業 ・浄化槽清掃、保守点検 ・除雪機点検 ・産廃物収集運搬 ・公用車タイヤ交換 ・雪囲い作業 ・電気設備定期点検
12	<ul style="list-style-type: none"> ・忘年会 ・模擬喫茶 ・ゆず湯 	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽ブロー用Vベルト交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機点検 ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼた餅提供 ・小正月、団子木飾り ・新年会 ・映写会 ・お楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ・不凍給水栓カバー取替 	<ul style="list-style-type: none"> ・風呂清掃(業者) ・産廃物収集運搬 ・浄化槽保守点検 ・電気設備定期点検
2	<ul style="list-style-type: none"> ・果物の日(みかん) ・お楽しみ会 		<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽レジオネラ菌検査 ・厨房微生物検査 ・産廃物収集運搬 ・浄化槽保守点検 ・消防設備総合点検 ・厨房害虫駆除
3	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会 ・彼岸供養 ・映写会 ・彼岸喫茶 		<ul style="list-style-type: none"> ・自動ドア保守点検 ・浄化槽汚泥引き抜き作業 ・電気設備定期点検 ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬 ・雪囲い外し作業 ・非常用発電機点検

(3) 入所、退所の状況

月	月初日の 入所者数	入所件数	退所件数	備 考
4	55	1	1	こぶし荘移送1名
5	55	1	0	
6	56	1	1	
7	56	1	0	
8	57	0	3	こぶし荘移送1名
9	54	1	0	緊急入所1名
10	55	1	2	こぶし荘移送2名
11	54	0	1	
12	53	2	0	緊急入所1名
1	55	1	1	
2	55	1	2	こぶし荘移送1名
3	54	1	1	
合計		11	12	

(4) 文書の情報公開についての実施状況

なし

(5) 職員研修等状況

① 職場内研修

なし（予定していたが、コロナクラスターの発生により中止した。）

② 外部研修

研 修 日	研 修 名	参 加 者	備 考
5月24日	社会福祉専門講座3(認知症)	支援員	
6月3日	栄養士・調理担当者研修	栄養士	
6月22日	施設看護職員BPSD研修	看護師	
7月7日	社会福祉専門講座5(感染症予防)	支援員	Zoom研修
7月25日	社会福祉施設ケアリーダー研修	支援員	Zoom研修
8月24日	福祉・介護人材採用力アップセミナー	事務員	Zoom研修
9月12日	施設入所・退所時の事務手続等対応研修	生活相談員	Zoom研修
9月29日	養護部会職員研修会 『新型コロナウイルス感染者発生時の対応について』	5名(看護師・支援員・生活相談員)	Zoom研修
10月4日	中堅介護職員向け研修	支援員	Zoom研修
10月14日	山形県地域生活定着支援センターネットワーク会議	生活相談員	
10月18日	社会福祉専門講座4(身体拘束・虐待)	支援員	Zoom研修
10月25日	人材確保・定着支援研修	支援員	
10月26日	BCP対策セミナー	事務員	Zoom研修

研 修 日	研 修 名	参 加 者	備 考
11月2日	養護老人ホーム職員研修	生活相談員	Zoom研修
12月8日	山形県レジオネラ対策セミナー	事務員	Zoom研修
12月9日	第8回応急手当講習会	支援員2名	
1月19日	山形県地域生活定着支援センター研修会	生活相談員	Zoom研修

(6) 来年度の主な事業等

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第5類になったことで、感染リスクが一層高まることが予測されることから、これまで同様の感染対策を引き続き行います。

また、新施設での運営が2年目になることから、高騰する光熱費について前年度の実績に基づき使用料の節減に努めていきます。さらには、各課の業務検討などを行い、入所者の処遇向上に努めることといたします。

★★ 令和4年度事業報告書 ★★

法人名： 社会福祉法人南陽恵和会
理事長 遠藤 東一朗

所在地： 山形県南陽市川樋508番地
電話： 0238(49)2800
FAX： 0238(49)2802
メール： kobushi@bz01.plala.or.jp
URL： <http://kobushiso.jp/>